

美術講座 2023

展覧会のこと、最近の関心事、
専門的に研究していること・・・

学芸員がちょっとダイブな美術のいろいろを
全6回にわたってお話します。

*タイトルや内容は変更となる場合がございます。

8/19 (土)

アヴァンギャルド概説

第二次世界大戦までの20世紀美術

講師：前山裕司 特任館長

西欧近代美術を、アヴァンギャルドの視点から解説します。印象派からナチスの台頭の間に起こった過激な実験や芸術革命は、その後の美術の動向に決定的な影響を与えました。ヨーロッパ各国のアヴァンギャルドを広く紹介します。

9/9 (土)

「ぎりぎりのところの写真」を考える 牛腸茂雄が捉えたもの

講師：児矢野あゆみ 学芸員

写真家の牛腸茂雄は、何気ない日常を取り上げた自身の写真を「見過ごされてしまうかもしれないぎりぎりのところの写真」と言い表しました。牛腸が捉えた「ぎりぎりのところ」について、代表作である写真集『SELF AND OTHERS』を中心に考えます。

2024 1/6 (土)

描かれた大正モード

講師：荒井直美 学芸員

欧米諸国に追いつけ追い越せの明治を経て、大正時代は日本が国際的にも列強に肩を並べ、社会の成熟を背景に多様な文化が開きました。服飾面でも「はいからさん」や「モボ・モガ」に代表されるように和洋折衷モードが大衆に広まります。画家たちのとらえた“大正コレクション”の世界にご招待します。

各回共通

時間：14:00～15:30 (13:30 開場)

場所：新潟市美術館 2F 講堂

定員：80名

聴講無料、事前申し込み不要

info

8/27 (日)

阿部展也の写真作品における変化について

講師：上池仁子 学芸員

洋画家・阿部展也(1913～71年)は、写真分野でも大きな功績を残しました。シュルレアリスムの影響が色濃い1938～40年「前衛写真協会」会員としての活動から、戦後の大辻清司との共作、インドや東欧で撮影されたルポルタージュ写真まで。表現や制作姿勢の「変化」、そして「変化しなかったこと」を紹介します。

12/2 (土)

ヒロインを「美人」に描く方法

講師：菅沼楓 学芸員

古くは楊貴妃や小野小町から、江戸以降は花魁やお茶屋の娘まで。多くの人が憧れを抱いた各時代のヒロインたちは、どのように描かれてきたのでしょうか。たいてい見目好く、たまに恐ろしく…ビジュアル化された彼女たちの姿から、表現された「美人」と、そこにみえる美意識を探ります。

2024 1/20 (土)

モガとモ画

講師：藤井素彦 学芸員

「伝統的な日本画とは異なるモダンな画風」というような文章には要注意です。実は1930年代以降の日本画には(1)モダンガールや都市風景を(2)洋画風の鮮やかな色彩やデコボコした絵肌で(3)時にルソーやマティスのように描いた作品が多数あります。忘れられた「モ画」(仮称)の歴史を面白がります。



新潟市美術館

Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
Tel.025-223-1622 Fax.025-228-3051